

ポイント

9-a 誤飲

- 気付いた時点で舌の奥を下の方へ押し、すぐに吐かせるのが原則(ただし、吐かせてはいけない場合もある)

- ①誤飲時の処置は気付いた時点ですぐに吐かせるのが原則です。舌の奥を指、スプーン、アイスクリームを食べる時に使う木のへらなどで下の方に押し吐かせます。なかなか吐かない時(タバコ、防虫剤は除く)や液状異物の場合は水や牛乳を10~15ml/体重(kg)位飲ませてから吐かせます。
- ②ただし、以下の場合は吐かせずに病院へ連れて行きます。(1)意識障害がある、(2)けいれんを起こしている、(3)揮発性の灯油、ガソリン、ベンジン、マニキュア除光液などの誤飲、(4)強酸、強アルカリ(漂白剤やトイレ用洗剤など)の誤飲、(5)血を吐いた、(6)とがったものを誤飲した。
- ③本人の様子が悪化していれば、まず中毒110番(日本中毒情報センター)に電話(ダイヤルQ2、約300円/1回)で問い合わせ指示を仰ぐようにされてもよいでしょう。誤飲物の毒性や家庭での処置についてはホームページ(<http://www.j-poison-110.or.jp>)でも検索できます。
- ④問い合わせや病院受診の時には、お子さんの年齢、体重、誤飲物の正確な名称、誤飲した量を伝え、誤飲したものの一部や容器が残っていればそれを持参するようにしましょう。

中毒110

- つくば中毒110番(有料) 電話 0990-52-9899
- 大阪中毒110番(有料) 電話 0990-50-2499

[大阪、365日24時間対応] [つくば、12/31~1/3以外の 9~17時受付]

なお参考までに以下に、少量の誤飲ではほとんど無害なものリストと誤飲の際の処置の仕方のまとめを以下に示します。

少量の誤飲ではほとんど無害なもの(少量1gまたは1ml未満)

台所	文具	化粧品	その他
食用油 酒 冷蔵庫用脱脂剤 保冷剤 マッチの先端 ろうそく	インク クレヨン・クレパス 絵の具 鉛筆 消しゴム 墨汁・粘土・糊	石けん・おしろい・口紅 クリーム・化粧水・香水 オーデオロン ベビーオイル・乳液 ペーパーパウダー 濡れティッシュ	歯磨き・シャンプー ヘアートニック シリカゲル 使い捨てカイロ 線香・蚊取線香・マット 乾草・花火・体温計の水銀

現場での応急手当のまとめ

